得意先検索、商品コード検索に、検索方法を追加しました。従来の機能と合わせて使用できます。

1 得意先の検索

問い合わせ画面やデータの入力画面で、得意先をさがすときに、コード以外でも検索を行うことができます。

画面の切替は、次のボタンで行います。

F5 : 得意先のカナ名、電話番号で検索します。いずれも半角文字です。

キーファイルに登録されているものを参照するので、短い時間で検索できます。 特に、電話番号(得意先マスタで、電話1、電話2)の検索は、候補が少ない

ので、もっとも速いです。

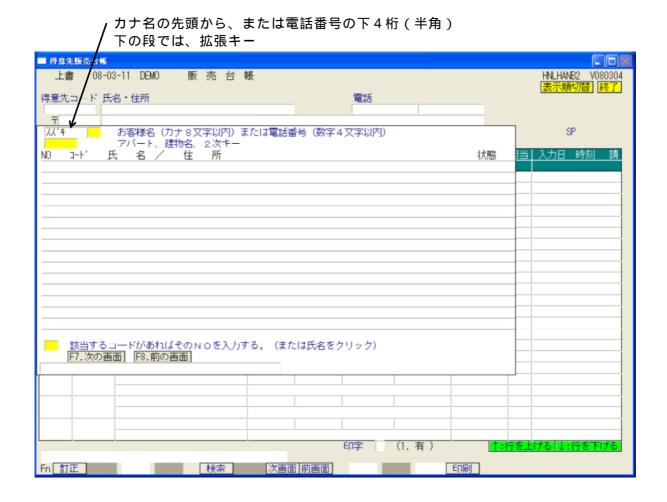
┃F6┃: 得意先の名称、住所、建物名 の全角文字の一部で検索ができます。

カナ名の半角文字でも検索できます。

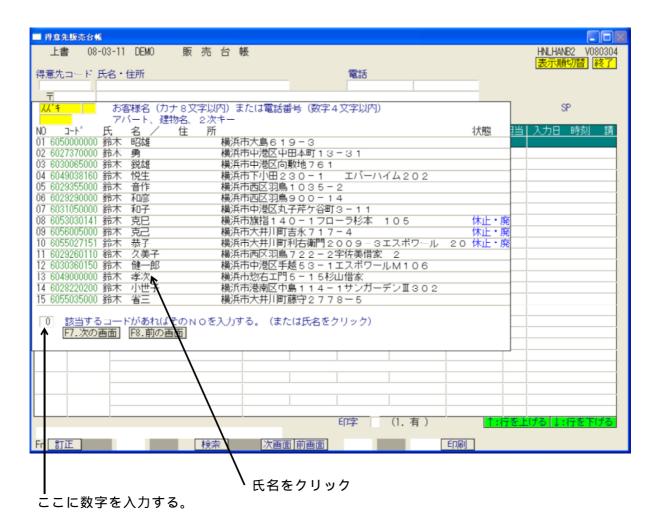
文字列の一部分での検索が可能なので、アパート名などを検索するときに

便利です。得意先マスタを順読みするので、速度は遅いです。

(1) F5での検索



のように入力して、「Enter」を押すと、該当する得意先のリストが表示されます。 1 画面に15行で、40画面分検索できます。



F7,F8キーでスクロールが可能です。該当の得意先が見つかったら、上記のどちらかの方法で、得意先を選択して下さい。

見つからないときは、F1 で戻り、検索キーの指定方法を変更して下さい。





得意先の選択方法は、F5の場合と同じです。

検索文字を、2つ使用することもできます。 以下のように、「港区」の「鈴木」さんを検索することが可能です。



2 商品コードの検索

売上伝票、納品書の入力時などに、商品コードの検索を行うことができます。 画面の切替は、次のボタンで行います。

F5 : 商品コードの、先頭文字で検索します。

あらかじめ、分類が分かっている場合に便利です。

F6 : 分類順に段階を追って商品コードを表示します。

分類が分からないときに便利です。

文字列の一部分での検索が可能なので、アパート名などを検索するときに

(1) F5での検索



該当する商品が見つかったときは、その番号(1から12)を入力

型式の先頭文字を指定しての検索も可能です。 /



商品コードの先頭文字と、型式の先頭文字の両方を指定すれば、絞り込みができます。

(2) F 6 での検索

最初に、大分類(2桁)での名称が表示されます。



NOを指定、またはクリックすると、中分類が表示されます。



該当の商品のNOを入力、またはクリックします。 さらに、小分類があるときは、次のように表示されます。 小分類がないときは、上位画面に戻り、そのときの [商品コード]が適用されます。



該当する商品が見つかったときは、その番号(1から16)を入力。または番号をクリック。